

失敗を成功に変えろ

校長 武井 正明

お昼の放送で広報委員会の企画「失敗を成功に変えろ」をやっている。
昨日は立海先生と池上先生だった。ふたりとも、実に滑らかにマイクに喋っていた。

失敗、か…。

思い返せばいろんな失敗をしてきた。

記憶にある人生初めての失敗は、小2時代の「自動車代ジュース使い込み事件」だな。

当時、電車は「自動車」と呼んでいた。

眼が悪く「仮性近視」だった私は、定期的に内野の眼科に通っていた。

母親からは往復の自動車代を持たされて。きっと治療費は子どもに持たせるのは、とまとめて払っていたのかな。（最終的に眼は治らず、その男性眼科医の「ダメだな…」という呟きが、幼心に大変ショック「俺の眼はダメなんだ…」だった）

いつものように眼科が終わって、内野駅の待合室。

ふとお金を確認すると、いつもより100円多くポケットに入っているじゃないか。

目の前には、赤い自動販売機があった。

普段は禁止されているコカ・コーラがある。母親からは「炭酸は不良が飲むものだ」と言われていた。

お金は余計ある。おかあさんは「不良が飲む」って言ってたけど、あれは嘘だと薄々気づいていた。大人はよくそういう言い方で、子どもに言うことを聞かせようとするものだとわかり始めていた。

黙って飲めば、誰にもわからない。悪魔のささやきが聞こえた。

と思ったら、次の行動は早かった。

すぐに自販機に100円を入れ、コーラの所を押した。背は小2でも後ろから二番目。十分届いた。

勢いよく出てきたコーラを、ゆっくりと飲んだ。焼けつくように、喉に来る。これが不良の味か…。甘く弾けるようで、旨い!! 不良って、こんな旨いの飲んでるんだ。

と、半ズボンのポケットに手を入れる。…?…!! 120円あるはずが、20円しかない!!

ということは、俺は自動車に乗れない。寺尾の家に帰れない。まずい。ただ20円はあった。電話は掛けられる。青くなって、赤電話に20円入れて家に掛けた。幸い母親が出た。

不安な気持ちで暫く待っていると、鬼の形相で内野駅の改札を抜けてくる母親の姿があった。「無事でよかった!!」などと、そこで子どもを抱きしめる、外国映画のような母親ではなかった。そこから先の記憶はない。

皆さん。確認は何度もした方がいいです。